

第34回 オペラ公演「魔笛」を終えて

3月10日(日)大阪芸術大学の芸術劇場に於いてオペラ「魔笛」の公演を行いました。

当日は朝から雨でしたが足元の悪い中大勢の方々に来て頂きました。



公演を盛会に導くのは、大きな拍手を下さるお客様方の支えがあればこそと心より感謝し、公演にのぞみました。芸大送迎バスの協力を得て大学の玄関から芸術劇場まで、来て下さった方々をお運びし皆様に喜んで頂きました。

会場は満員補助席を出す程で、出演者一同モチベーションが頂点に達し学生達の顔は見事に輝いていました。

芸大オペラに選ばれたソリスト達は厳しいオーディションを受け難関を突破した優秀な学生達です。本番に向けてやる気満々幕が開くまでの熱気は言葉には表す事が出来ません。

昨年の4月から始まったオペラ公演に向けての練習は、出演者それぞれ自分の役に没頭し歌う事も、もちろん身振り手振り全

てを全身で受け止め勉強し頑張りました。

又、舞台芸術学科の舞踊コースの学生達の参加もあり、力強くみなぎるダンスがより一層舞台を盛り上げる事と相なりました。

一年間熱心に演技表現指導と演出を担当下さった浜畑賢吉舞台芸術学科長、音楽指導を担当下さった三原剛音楽・演奏学科長はじめ演奏学科瀬野光子教授・藤川賀世子教授・水口聡教授、振付の長尾奈美先生、舞台監督、皆々様のお蔭で公演は大成功に終わることが出来ました。

最後の幕が下りるまでの3時間あまりの緊張感は何にも代えがたいものがあり、大学生のオペラとは言葉、何処に出しても恥ずかしくない最高のオペラだったと、胸を張ると共に誇りに思います。積み重ね上げた努力、学習する事への情熱・習得する事の謙虚さをもった素晴らしい学生達と力を合わせて創り上げた作品、心に深く刻まれるモーツァルトのオペラ公演「魔笛」でした。

大阪芸術大学の音楽レベルの

高さと奥深さを感じずにはいられません。皆の力を合わせれば

どんなことも乗り越え何にも代えがたい貴重な宝を見いだせる事を、出演者スタッフ一同痛感いたしました。今後さらなる学生たちの活躍を期待すると共にこの大阪芸大オペラが未永く続くようにと、願って止みません。

音楽学科ポピュラー音楽コース第7回卒業演奏会

ポピュラー音楽コース『卒業演奏会』が3月20日(水祝)、大阪芸術大学の芸術劇場にて行われました。



この演奏会の出演者は、去る2月に実施された卒業試験の審査で、技術やパフォーマンスなどの上位得点者を中心に選ばれました。現役のプロミュージシャンが先生陣として揃うポピュラー音楽コースでは、このような実践的なシステムで、学生が自分の実力を冷静に知る機会を持つことが出来ます。

出演者のパフォーマンスは、彼らの4年間の集大成。力と表現力を思う存分発揮した演奏は素晴らしいものでした。サポートメンバーも渾身の演奏で盛り立ててくれました。

平成24年度 大阪芸術大学「卒業演奏会」

3月16日(土)午後1時より大阪芸術大学卒業演奏会、引き続き第15回大阪芸術大学大学院博士課程(前期)修士作品演奏会が昨年と同じく大阪芸術大学内、芸術劇場にて開催されました。

本年はピアノ・声楽・管弦打の各コース別での卒業試験、並びにダンスと歌を融合させたセッションアップした作品、息の合ったギターデュオやバンドで心に語りかける歌詞と歌に仕上げた作品、壮大なアレンジでシンフォニーを作り上げた作品、シンセサイザーの巧みなテクニク、JAZZやロックを極めた作品など、観る者聴く者を楽しませるパフォーマンスでした。後輩たちにとつては、新たなアイデアを紡ぎ出す機会となったことでしょう。

学生の卒業後はプロを目指す人、音楽に携わる職業に就く人、音楽とは違う道を歩く人、それぞれ未来は違っても、大阪芸術大学で学び得た貴重な体験、音楽をいつまでも愛することを忘れないでしょう。

(演奏学科教授 M A L T A)



出された18名(ピアノ6名、声楽5名、管弦打7名)の学部4年生と、大学院修士演奏により選出された7名の2年生の合計25名の出演者による演奏会でした。

演奏は各コース上位の成績で選ばれたという責任を十分に果たしていたと共に、所属コースの学生としての最後の演奏、集大成にふさわしい好演・熱演を聞く事が出来ました。特に学部・大学院それぞれ後半の出演者の演奏は、例年に勝るとも劣らない優れた演奏成果を感じさせ、演奏家としてのキャリアの第一歩にふさわしい、充実した内容の演奏を披露し、彼等の今後の音楽活動を大いに期待させるものとなりました。

(演奏学科教授 森下治郎)